

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
出雲市	稗原地区	令和3年 3月31日	年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	300.6 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	175.0 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	100.0 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	80.3 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	8.3 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の高齢化により営農をギリギリの状況で行っている。 ・米価の下落等により農業が儲からないため後継者不足が深刻化している。 ・中山間地の農地は圃場条件も悪く、稲作以外の高収益作物を栽培することはできない。 ・担い手不在地域では荒廃地が顕著になってきている。 ・年々、鳥獣被害が多くなってきている。 ・圃場条件の悪い農地が多いことから土地改良事業を模索している。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

稗原地区は山間部のため、不整形や小区画農地が多いなか、条件がいい農地は中心経営体が担うことで対応する。
山間部の農地については、稲作以外の品目(例;ブルーベリー、その他果樹)を推進し、これらを栽培できる経営体が担う。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	8経営体		48.5 ha		56.8 ha	

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
出雲市	朝山地区	令和3年 3月31日	年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	194.4 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	113.3 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	58.2 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	48.4 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.2 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の高齢化により営農をギリギリの状況で行っている。 ・米価の下落等により農業が儲からないため後継者不足が深刻化している。 ・中山間地の農地は圃場条件も悪く、稲作以外の高収益作物を栽培することはできない。 ・担い手不在地域では荒廃地が顕著になってきている。 ・年々、鳥獣被害が多くなってきている。 ・平地では集落営農法人と認定農業者とのすみ分けが出来ているが、ここ数年が営農の限界。 ・山手では集落営農組織のある地域では現状何とかなっているが、数年後は分からない。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

朝山地区は山間部のため、不整形や小区画農地が多いなか、条件がいい農地は中心経営体が担うことで対応する。
平地について、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	12経営体		75.8 ha		77.0 ha	

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
出雲市	乙立地区	令和3年 3月31日	年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	74.0 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	40.8 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	21.6 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	14.9 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.9 ha
④地区内において今後中心経営体引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	0.8 ha

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の高齢化により営農をギリギリの状況で行っている。 ・米価の下落等により農業が儲からないため後継者不足が深刻化している。 ・中山間地の農地は圃場条件も悪く、稲作以外の高収益作物を栽培することはできない。 ・担い手不在地域では荒廃地が顕著になってきている。 ・年々、鳥獣被害が多くなってきている。 ・これまでも集落営農設立に尽力したが出来なかった経過もある。今後も模索はするが、ダメなら他地域からの担い手をお願いするしかない。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

乙立地区は山間部のため、不整形や小区画農地が多いなか、条件がいい農地は中心経営体が担うことで対応する。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	3経営体		6.0 ha		6.8 ha	

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
出雲市	佐田地区	令和3年 3月31日	年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	690.6 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	411.7 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	204.4 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	163.1 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.4 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	18.5 ha

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の高齢化により営農をギリギリの状況で行っている。 ・米価の下落等により農業が儲からないため後継者不足が深刻化している。 ・中山間地の農地は圃場条件も悪く、稲作以外の高収益作物を栽培することはできない。 ・担い手不在地域では荒廃地が顕著になってきている。 ・年々、鳥獣被害が多くなってきている。 ・地区内には集落営農法人から任意の集落営農組織、多面や中山間直払の協定区域も多数存在し、場所により状況が異なる。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

佐田地区は山間部のため、不整形や小区画農地が多いなか、条件がいい農地は中心経営体が担うことで対応する。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	36経営体		182.6 ha		201.1 ha	